CW01KK series

電源を使わずに着座や起立動作をアシスト
自立を助け、介助の負担を軽減する起立介助チェア

動画説明

自力 ＋ エアダンパー の力で、

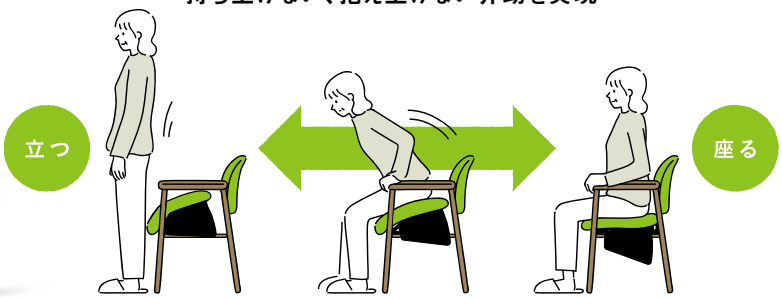
立つ、座る。楽らく！

みんな笑顔に！
“ひとりで”
をアシスト

たすけ
立介®
TA・SU・KE

抱え上げいらず！
“介助する方”
の負担軽減

持ち上げない、抱え上げない介助を実現



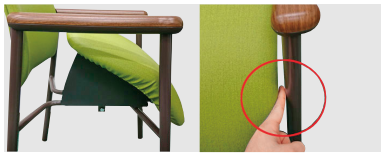
「自力」＋「エアダンパー」の力で、立つ、座るが楽々！

着座時、起立時の動きに合わせて座が適度な力で昇降し、自分自身の力で立ち上がる動作や介助される方の負担をサポートします。電動や過度な力によるアシスト機能に比べ、自力を使いながらの起立動作は、安全で脚力維持に効果的です。

専門機関との共同研究による最適なアシスト機構

独自特許技術の2ステップアクションシートが、着座動作と起立動作時を優しくサポートします。(特開2019-150217)

(機能説明のため、安全保護カバーを外した状態で撮影しています。)



安全保護カバーを装備

座面下の昇降機構部は手が届きにくい中央部に配置し、さらに保護カバーを装備。
また、座面とフレームの隙間も十分に確保し、誤った使用による事故を未然に防ぎます。

握りやすい形状の安定感のある木目調肘

先端部もしっかり握れて、安心感のある形状の木目調肘。着座、起立動作時はもちろん、椅子使用時も便利な大型タイプです。丈夫なABS製で、表面に木目シートを張ることで美しい仕上がりになっています。(実用新案登録第3219465号)

身体に負担をかけずに、脚力トレーニング

椅子からの起立動作は、足の筋肉だけでなく背中と腰の筋肉も同時に強化し、歩行に必要な筋力を効果的に鍛えられます。
(1日数回、着座と起立動作を繰り返すことで、無理のない筋力維持、改善を助けます。)

推奨適応体重は40～80kgです。40kg未満の方が着座されても、座が降下せずに正しく作動しない場合があります。詳細はお問い合わせください。

[定価表示について]本体単品価格を表示しています。